

インタビュー

「アンビシャス運動に参加しませんか」



福岡県青少年アンビシャス運動推進室 筑豊地区担当の松田さん

福岡県では、それぞれの志を持った、たくましい青少年を育成するため、青少年アンビシャス運動を推進しています。

桂川町において、子どもの読書やスポーツ活動、ボランティア活動に取り組まれている団体・個人の皆様は、ぜひ運動に参加してください！

地域でアンビシャスな子どもを育てるためには、地域の皆様、特に団塊世代の皆様のご協力が必要です。

さまざまな体験活動を通して、桂川町の子どもたちがアンビシャスな子どもに成長していくことを願っています。



私たちは何をしていると思いますか。授業終了のチャイムと同時に子どもたちは廊下を走り（走るのは良くありませんが）、「我、先に」校庭へ出ていく姿が多く見られます。

↓チャイムが鳴った後、元気良く校庭に出て行く子どもたち。



み。子ども
分の中休
たった15
間にある
授業の
の授業と
小学校

輝くエネルギーを育てる

子どもの元気は無量大

す。また、外で遊ばなくても教室で本を読んだりするなどして、自分たちのやりたいことを、短い時間でも楽しもうとするエネルギーは、まさに大人顔負けです。そんな底のない子どもたちのエネルギーは、放課後も休日も行き場所を探して、いつもウズウズしています。

子どもたちのその無垢なエネルギーは、どのようなベクトル（方向）にもすぐに傾きます。そのベクトルを、子どもたちの背後から静かにコントロール（制御）していく一つとして、地域活動や子

も会、そして「夢・人・未来塾」などの存在は、今後より一層、重要なものとなってきます。純粋な子どもたちのエネルギーは、まだ何色にも染まっていません。その真っ白なエネルギーは、子どもたちがこれから多くの人たちとの触れ合っていく中で、あらゆる色に変化します。目に映る全てのものに興味を示す多感な時期の子どもたちのエネルギーを、光輝くものとし明るい未来へ導くのは、地域であり、「夢・人・未来塾」であり、何より大人の役目なのかもしれません。



↑ ← 休み時間は学校が大きな遊び場になる瞬間。冬でも半ズボンの子もいますよ。

